



1. 九州支部のお知らせ

1) 九州支部会員の集い（例会）

例会を下記のように宮崎で行なうことを企画しました。会員相互の親善交流を深め支部活動の進展を図りたいと思いますので、どうぞ宮崎へおいで下さい。宮崎地域の朝稲さんをはじめ地区会員がお待ちしております。

九州支部会員の例会

- 日時： 2006年11月11日（土）

16時受付、18時—20時 サーバス九州支部例会

- 場所：〒880-8545 宮崎市山崎町浜山

コテージヒムカ（右写真、4ベッドルームタイプ）

電話：0985-21-1333

Fax：0985-21-1334

宮崎市の北に位置する一つ葉リゾート施設で日向灘に面する松林の中にあるコテージタイプの宿舎です。

- 料金：お一人1泊朝食付（サービス料・消費税込み）：5000円

夕食パーティ：3000円



- 申し込み：サーバス九州事へ
- 申し込み締め切り：2006年10月22日

2) サーバス九州支部のホームページ

お気づきの方もおられると思いますが、日本サーバス本部のご尽力で、九州支部のホームページが公開されました。現在は支部会報を掲載しています。個人情報などは省略して本部の広報係の許可を得て掲載されることになっています。どうぞ一度ご覧下さい。

なお、九州支部の状況を理解してもらうために、九州各地の案内の写真、案内文を九州支部のホームページに掲載したいと思っています。できる限り多くの情報を掲載したいと思っています。どうぞお気軽に九州支部事務局へ記事をお送り下さい。

2. 会員情報

1) 九州支部会員数

平成 18 年 9 月 20 日現在 の九州支部の会員は、合計 56 名です。

福岡：11 名； 佐賀：1 名； 長崎：8 名； 大分：18 名； 熊本：3 名； 宮崎：12 名；

鹿児島：2 名； 沖縄：1 名

3. サーバス旅行報告

期間：7 月 7 日～7 月 10 日 3 泊 4 日； 旅行地：韓国・釜山

サーバス韓国会長のウムさんが古希（70 歳）の誕生日を迎えられ、8 日（土）智異山にある別荘でパーティがありそれに日本からただ一人参加しました。当日は台風のために大雨になりましたが、パーティはそれを吹き飛ばすくらいの賑やかさでした。全国各地から支部長や主だった役員が駆けつけ、ウムさんの古希を祝い、長年にわたる貢献に対して惜しみない拍手を送りました。30 年以上にわたって韓国サーバスを引っ張り今日の隆盛を築き上げたウム会長ですが、今年末をもって辞任され、後任にはキム・ジョン・スー氏が就任されるそうです。

韓国サーバスは日本からの訪問者を待っていますので、一番近い九州の私たちが参りましょう！

期間：6 月 24 日～6 月 26 日 2 泊 3 日； 旅行地：韓国

私が韓国に行きました。以前私の家に泊めたことのある友人（カン・ス・ホさん、清州工業高校日本語教師）を頼って、トウヨウミツバチの調査に行きました。6 月 24 日から 26 日までです。一言だけ報告しますと、韓国は環境破壊が進んでいて、ツバメは 1980 年代に絶滅したとかで 1 匹もいません。韓国の童話にはツバメが良く出てくるそうですが、今の子供たちはそのツバメを見たことがないとのこと。農薬が原因です。稲田に散布した農薬で飛び上がった昆虫をツバメが食べて死滅したのだそうです。

蜜蜂も、これは飼育されているセイヨウミツバチのほうですが、これも絶滅寸前で、巣箱の前には蜜蜂の死骸が散乱していました。養蜂業は終焉に向かっていきます。朝鮮人参や唐辛子にも農薬を掛けるとのことで、「韓国の朝鮮人参は買ってはならない」と言われました。

リンゴ園も見かけましたが、蜂がいなくなったために、受粉は人が筆を使ってやっているのだそうです。労力が要るうえに、美味しいリンゴは実らないと言っていました。山岳地帯のトウヨウミツバチ（ニホンミツバチと見かけは全く同じで、韓蜂（ハンボン）と呼ばれている）は健在でした。しかし飼っている人はとても少ないようで、やっとカンさんが 1 人探し当ててくれていたのですが、その人は他に韓蜂を飼っている人を知りませんでした。その人はテグーの近くに住んでいて、100 キロほどドライブをしたのですが、その途中の田舎道で偶然巣箱の群を見つけましたので、2 人の蜂飼いに会うことができました。韓国ではどんな巣箱で飼われているかを調べるのが訪韓の目的でしたが、それは、話が専門的になりますのでここでは触れません。

○

期間：6 月 15 日～6 月 20 日 5 泊 6 日； 旅行地：韓国

(6 月 15、16、19 日釜山の竺失傑 Park_Sun 宅；6 月 17、18 日大田市 Song Eun Dack 宅)

釜山では有名なお寺や市場、ビーチ、釜山大学校や Sule さんの高校を訪れました。また、Park さんの友人の Kim さん宅を訪問、バトミントン練習場の見学等盛り沢山の経験をしてきました。大田ではエキスポ公園、フランスル

オー展や市場に行きました。最初4泊5日を予定していたのですが台風が来て park さんの家で1日延泊させて頂きました。お陰でもう1日観光ができてとてもラッキーでした。九州の良さをアピールして、彼が夏休み休暇が取れる7/17の大分での再会を約束して帰国の途につきました。

4. トラベラー受け入れ報告

○

(1) 期間：4月3日～4月4日； Muki & Hanna Mazursky (アメリカ在住夫妻)

ご主人のお仕事の関係でアメリカに在住のイスラエルの50代のご夫婦でした。午後到着のはずが10時半にもう着いたと連絡が入り少しあわてました。お二人に着物を着ていただき抹茶を楽しんでいただきました。太宰府に案内した後、丁度桜が満開の時でしたので九州の小京都と言われる桜のトンネルで有名な秋月まで足を延ばしました。写真を撮っていただこうと頼んだ殿方の前でハンナの名を呼んだ時に「あっ、イスラエルの方ですね。後では是非お話したい。」としばしへブライ語で話が弾んでいました。何でも30年程前に語学習得の為にイスラエルに滞在されていたのだそうです。お二人は広島から九州に入り我が家で一泊された後に東京へ向かわれたのでした。

(2) 期間：4月19～20日； Pierre Boussard (フランス、ニース、72才、)

72歳のフランスのニースからみえたピエールさんは韓国の釜山から早朝福岡入りされたのですが、乗客に白人男性がたった一人で税関で長い時間とても厳しい質問攻めにあい大変困ったとおっしゃっていました。我が家には夕方到着されましたが、ご自分で福岡市内を観て廻り美術館では印象派の絵画をゆっくり楽しまれたそうです。事前にディナーに招待したいと申し出がありましたので、初めてだという焼き鳥屋に出掛けました。店にはジャズが流れていて、ご主人が踊るように体を揺らしながら串を返していきます。見ている私達も楽しくなるほどでした。とても旅慣れた方で日程の割りに小ぶりのリュックひとつでした。着る物は全て二枚づつしか用意しないと笑っておられました。着物も楽しんでいただきました。

(3) 期間：5月14～16日； Annia Pooler (アメリカ在住、53才) & Monique Leslie (24才、アメリカ在住)

アメリカ在住のポーランド出身のお母さんとアメリカ生まれの娘さんでした。各地を廻った後、京都から再度九州入りされたそうで日本食に大変興味のある母娘でした。手巻き寿司を用意したのですが驚いたことに二人とも納豆、山芋など大好きで、四国では讃岐うどんが美味しかったとか。食べてみたかったというぶっかけうどんをつくってあげ、巻き寿司づくりにも挑戦してもらいました。お二人にも着物を体験していただきお抹茶も味わっていただきました。新緑の楠の大木に囲まれた太宰府に出向き、京都より美しいといわれるお庭のある光明禅寺にも行きました。この寺の奥さんがわたくしの同級生でこちらでもお抹茶をご馳走になりました。アメリカでも楽しみたいとお抹茶と茶筌を買われました。都府楼跡に立ち寄ってからオーガニック野菜だけを使ったビュッフェ・レストランに行きました。料理が大好きな二人は大興奮でした。

(4) 期間：7月30日～8月1日； Joelle Gregiure & Francoise Place (フランス、50代女性)

お二人とも英語の先生で、息の合った長年の旅の友でもあるそうです。世界各地を旅されたとかで、かなり危険なめにも遭われた様子、面白かったこと、ハッとした事など楽しくうかがいました。ジョエルは物静かで、フランソワーズは陽気でいつも歌を口ずさんでいました。ちょうど一歳の孫の面倒をみていた時でしたので食事をやってくれたり、顔を見る度泣かれるフランソワーズはララバイを沢山唄ってくれました。翌日は自然が大好きだというリクエストに答えて唐津に海を見に行きました。唐津の友人の案内で虹ノ松原、唐津焼、唐津城、勇壮な「くんちの山車」を見にと、わたくしにとっても楽しいひとときでした。丁度友人の初孫が誕生したばかりでしたので賑やかに過ごしました。

先日若い学生さんからのオファーが二件ありましたが、サーバステーターにサインとスタンプが無く別件もホストにキャンセルされてSOSだと言う事でしたがやはり同じ状況で断りました。時に名簿を手に入れて無銭旅行と勘違いする人がいると聞いていたので慎重になりました。

(1) 期間：4月7日～4月10日； Arthur Coupe & Lexi ???(アメリカ、男・女)

諸事情により、ホームステイではなく、博多駅そばのビジネスホテルを紹介して、ランチもしくはディナーと一緒にというホスティングスタイルをとっています。3月から4月初旬にかけては、ステイ申し込みのメールが、5、6通着ました。合計7、8名ではなかったでしょうか？私の条件とあったのは、上記のアメリカ人カップルでした。夕食の後、博多の名物である屋台に連れていきましたところ、居合わせたお客さんたちと仲良くなり、パブには行くわ、カラオケには行くわで、午前3時過ぎまで大はしゃぎ。その翌日は、二日酔いのまま博多の観光案内。夜は夜で、前日知り合ったお客さんが、家族を連れてくるなど、12名が、このカップルのために集まり、居酒屋でワイワイやりました。カップルは、強烈な思い出になったと言っていました。

(2) 期間：8月15日； Daniel Leclerc and Francois Leclerc (カナダ、兄弟)

上記カナダ人双子の兄弟は、ホストキャンセルのため、レスキューメールがきました。サーバス入会希望の女性がおりましたので、ホストをお願いしたところ、快く引き受けてくださいましたので、15日のみ宿泊させてもらい、16日午前は、近くのレストランで、コーヒーホスティングでした。非常に礼儀正しく、穏やかな好青年たちでした。兄の方は日本語も上手で、日本の政治経済など社会事情にも通じており、会話も弾み、楽しいひと時を過ごしました。上記女性は、これを機会に、新しくサーバスに入会したいと希望されていますので、手続き等について、ご連絡くだされば幸いです。

(1) 期間：1月7日； Joo Su-seok and his son (韓国、男性2人)；デイホスト

数学の先生と中学生のお2人で、日本の徳川時代に興味がおありで京都の二条城を見に行く途中で博多で時間を過ごしたいとのことでした。昼食をしてモダンな所リバレインや古い街上川端通り、ふるさと歴史館、キャナルシティを経て博多駅へ案内しました。話の中から韓国のご両親の教育熱心さに感心しました。

(2) 期間：1月8日～1月10日； Jan Willem Tendam and Florence Koppenoal (オランダ、男女子学生)

若いカップルの学生で日本のいろいろなものに興味があり、勉強している姿を見て、今の平和な時代の日本をよく見て行って欲しいと思いました。

(3) 期間：4月10日～4月12日； Alexandra Coffey and Arthur Coupe (アメリカ、女子学生、男子会社員)

受け入れにとっても感謝され、次の旅行中のイタリアから長いメールをもらいイタリアの紹介までして頂きました。

(4) 期間：5月16日～17日； Anita Pooler and Monique Leslie (アメリカ、母親、経済学者；娘、学生)

親子での日本旅行を済ませて最後の日だったので、あまり時間がなく博多界限と最後に日本庭園と大濠公園へ行きベンチに座ってのんびりしたら、そのことがとても良かったらしく、気に入ってもらいました。娘さんから数日前手紙を頂きました。

(1) 期間：1月18日～1月20日2泊3日；カン・スー・ホー (韓国、男性、高校の日本語教師)

日本語の先生だけあって、日本語がお上手であるばかりか、日本の文化・教育に並々ならぬ関心があり、県立図書館や寺社などを精力的に回り盛んに質問をされました。

(2) 期間：8月23日～8月24日1泊2日； Sul and Park 夫妻 (韓国、Sulさんは高校の国語教師、Park奥さんは専業主婦)

大分、宮崎、鹿児島を経て最終日に我が家に1泊されました。わずか1泊でしたがとても楽しい交流をすることができました。宿泊された日の夕方、渓谷沿いにある静かな温泉にご案内したところ非常に喜ばれました。

期間：8月6日；フランソア&ダニエル・ルクレー (カナダ、ケベック州、双子の兄弟)

最初、当方にステイの申し込みがあったのですが、私がデイホストと云う事で、その後、長崎市の増井さんご夫妻（新会員）のお宅にステイされる事になったのですが、折角知り合いになれたので、一日だけ私もグラバー園散策や昼食をご一緒させて頂きました。仕事の都合で4時間ほどでしたが、いろいろな話が出来て楽しい時間でした。日本の文化や平和活動にとっても興味を持たれたようで、9日には原爆記念日の平和祈念式典にも行って見られたそうです。又、新会員の増井さんご夫妻にもお会い出来て、いろいろなお話が出来て良かったです。とても素敵なお二人に会員になって頂いて本当に嬉しいです。

(1) 期間：7月8日～7月10日； Trish Chapman and Peter Feigl(オーストラリア、女性、男性)

SVAS に入って、初めてのお客様でした。彼等は、30年以上の大ベテランで、何かとサポートして頂いているという感じを受けました。目下、ベトナムに住んでいらっしゃるのので、ご飯は勿論、刺身・シシヤモ・味噌汁・日本酒・抹茶 … 何でも OK。長崎を案内した時、原爆資料館を特に熱心に見られていたのが印象的でした。拙い英語で、失敗だらけという感じですが、とても楽しい時間でした。オーストラリア訛りの英語は、ちょっと分かりにくかったです。

(2) 期間：8月5日～8月9日； Daniel Leclerc and Francois Leclerc (カナダ、双子兄弟)

25歳の若者達で、SERVAS で泊まるのは2軒目だとか。2日目の昼食では、Day Host の渡辺みや子さん（英語教師）とも合流し、グラバー園などを見物しました。英語力がないので、ちょっと百人力を得た気分で、ホッとしました。

弟の方は、日本語を勉強しており、日本は2度目。農家の手伝いをして、旅費を稼ぎながら旅行するグループにも所属しているという事で、日本語が上手。つつい、日本語でしゃべってしまいました。兄は、日本は初めて。ケベック州出身なので、これまたちょっと分かりにくいフランス語訛りの英語。食事も、弟ほど日本食に慣れておらず、好き嫌いがありました。朝食は、シリアル・ジュース・コーヒー・卵などを食べる事を聞き出し、早速実行。(弟は笑っていましたが。) 食パンに、持参のチョコレートスプレッドをつけて食べていました。(私にも味見をさせてくれました。)

在り来たりの観光では満足できなかったようで、後半は、2人で伊王島で泳いだり、電車の1日乗車券で楽しんでいました。最後の夕飯は、彼等がスパゲッティとオープンサンドイッチを作ってご馳走してくれたので大感激！美味しかったです。

*まだ、2組受け入れたばかりですが、とても楽しい経験をさせて頂き、SERVAS のあり方の良さを感じている所です。もっともっと、英語をしゃべられるようになって、トラベラー会員にもなりたいと思います。

期間：8月2日～8月4日（2泊3日）； ダニエル兄弟（カナダ、兄弟）



右側が兄のジュモーで、メガネをかけているのが弟のダニエルです。ダニエルは豊後大野市緒方町に1週間滞在していたそうで、綺麗な緒方町を兄さんに見せたいとの思いで日本に兄と来たそうです。大分から・長崎県・鹿児島県などをホームステイしながら1ヶ月間近く日本を旅するそうです。

ダニエルは、日本語が少しできます。大学のときに日本語を少し勉強したそうです。阿蘇山に着くと、いきなり火口の大きさにびっくりして「凄い」の連発でした。火口の周りを散歩して大変満足していました。帰り道に阿蘇ファームランドで昼食をして、ファームランドの中を1時間30分ほど見学して三重町に帰りました。楽しい日を過ごすことができました。今度又ホームステイをするのが楽しみです。

(1) 期間：12月31日～1月2日； Florence Koppenaal and Jan Willem ten Dam (オランダ、女性、男子大学生)

年末からお正月にかけての受け入れでしたが、丁度 APU からインドネシア、中国、ベトナムからの留学生が来ていたので皆で料理を作ったり初詣に行ったり、又別府の露天風呂に行ったりで、小さな国際交流会が出来ました。

(2) 期間：4月22日～4月23日；Ania Pooler and Monique Leslie（アメリカ、オレゴン州女性、親子）

4月24日朝起きて喉が痛いというので近くの病院に連れて行きました。連日の雨の疲れで扁桃腺が少し炎症を起こしているということで薬を処方して頂き、次の目的地鹿児島指宿に向かいました。私は勿論病院の先生方も英会話の必要性を感じました。とても良い勉強になりました。

(3) 期間：8月17日～8月19日；Sul and Park（韓国、釜山、竺失傑、夫婦）

17日の夜7時頃我が家に到着して夕食を済ませた後ボーリングをしました。彼らは何年振りかにするようボーリングで喜んでいました。18日は台風の為に思うような観光ができず安岐町や別府の良さを味わっていただけなかった事が残念に思いました。

○

期間：8月19日～8月20日；Sul Sung-Ryeong and Park Sun Ok（韓国、釜山、夫婦）

大分の小田さん宅で過ごされた後、宮崎に入られ、19日は我が家に宿泊されました。ご主人は高等学校の国語（韓国語）の先生で、韓国の大学院で博士号を取得されたとのこと。韓国語と日本語の母音・子音による発音の違いを熱心に説明されました。英語の stop, club, truck の発音で、韓国ではストップ、日本語ではストップウ、クラブ→クラブウ、トラック→トラックウ の様に韓国では子音で終わり、日本語では母音で終わって発音する等という説明が印象的でした。ついつい日本語式で英語の発音をしていることを改めて感じたところです。

5. 各地域の近況

1) 大分地域

○ニュージーランドと韓国訪問の報告会

7月23日、大分の会員さん18名が、富田さん宅に集合、富田つぐおさん、佃哲男さんのNZ報告と、小田、奈良さんの韓国訪問報告会がにぎやかに開かれました。

富田さんがNZ3ヶ月、佃さんが1ヶ月のロングステイを終えられての帰国に、会員さんの中から、ぜひともお話をうかがいたい旨の申し出があり、会の運びとなったのですが、相前後して、韓国に、サーバス旅行された、小田さんと奈良さんもおられて、ご一緒にということで、賑やかな報告会となりました。

富田さん、佃さんは、直接サーバスにかかわったわけではありませんでしたが、ロングステイの楽しさや、語学学校での思い出話が聞けて、皆さん大いに、刺激を受けられたようでした。

韓国に行かれたお2人は、台風のため、釜山で足止めを食ったそうですが、おかげで、一泊多く韓国にいられてラッキーでしたの言葉には、皆さん大拍手でした。

出来るときに、無理なく、自然体で、をモットーに、次の楽しい出会いを待っている、大分の会員さんの近況報告です。

2) 宮崎地域

○宮崎の集い

(1) 5月14日(土)、宮崎の会員が朝稲さんの呼びかけにより、それぞれ自慢の料理を新支部長宅へ持ち寄り、楽しくにぎやかな親善交流がなされました。11名参加。

(2) 8月19日(土)、韓国のSul & Park 夫妻が宮崎に来られたのを機会に、朝稲さんの呼びかけで支部長宅に一品料理を持ち寄り、韓国と宮崎との楽しい親善の夕べとなりました(写真、12名参加)。韓国では夫婦別姓なんですね……。元々は漢字表現の国であったが難しすぎるために全ての国民に分かり易いハングル語が15世紀に作り出されました……。とかいろいろな会話が飛び交い楽しい交流になりました。

4月の総会で、九州の支部会員の集い(例会)を宮崎で開催ということで、最終的に11月11日の計画となりました。

6. 会費納入のお願い

今年度の会費の振り込みをまだされていない方は、振込をお願い致します。

7. トラベラー受け入れ及びサーバス旅行レポート等のお願い

トラベラー受け入れ又はサーバス旅行をなされた方からの体験談・報告を下記の事務局へお寄せ下さい。手紙又は電子メールなど短くても長くても良いですのでお願い致します。(日本サーバス九州支部 支部長あて)